



おおさきの教育に触れて・・・

おおさきで育つ子どもたち

私は昨年の4月、地域おこし協力隊としてこの大崎町にやってきました。

大崎町に来るまでは、高校の教員をしていましたので、『教育』というフィールドで活動することにとっても心が惹かれました。実際に学校現場に入ってみると、当たり前のことなのですが、学校の雰囲気や子どもたちの様子、先生方が子どもたちを見る様子まで異なっていることを感じました。

昨年度、大崎町内全ての小中学校に行かせていただきました。その中で一番感じたことは、子どもたちがとても素直だということです。大きな声でのあいさつや、進んで行うボランティア活動、何か失敗をしてしまった時でも「ごめんなさい」と言える心、感謝を伝える「ありがとう」の言葉。これから大きく成長していくための大切な素地を持っているように思います。このような基礎を形成していくには、もちろん家庭での教育が一番であると思います。しかし、それだけでは難しいのではないのでしょうか。やはり、大崎町という自然豊かな環境に恵まれ、地域に見守られ、愛情たっぷりの先生方に囲まれ……。このような環境で見守られてきたからこそ、子どもたちの素直な心が育まれてきたのだと感じます。

おおさきの教育に触れ、もっともっと、地域の中で子どもたちの心を育てられないだろうか。模索の日々です。

現在の活動について

現在、大崎小学校で学習支援員として活動しています。授業に入り、悩んでいる子どもに声をかけたり、一緒に問題を解いたり、共に活動したりして支援を行っています。一言で『支援』といっても、子どもたちの個性は一人ひとり違います。将来、子どもたちの『自立』を意識した支援を行っていかねばならないのだと、改めて感じています。

また、大崎小学校では学校と地域をつなぐ役割もいただきました。『おおさき学校応援団』を活用して、地域ぐるみで子どもたちを育てていこうという取り組みです。大崎町では平成25年度からこの制度をスタートさせています。より、この制度を活用し、大崎の子どもたちが地域に愛されていると思えるよう、そして生まれ育った郷土を愛せるように尽力したいと思います。



春のおおさきウォーキング大会



おおさきっ子歴史探検隊

これから・・・

まず一つ目に、目の前にいる子どもたちを大事にしたいです。学習支援員として、日々の学校生活や学習活動が子どもたちにとって楽しく充実したものとなるよう、支援に励みたいと思います。

二つ目に、『おおさき学校応援団』の活用を通して、地域ぐるみで子どもたちを教育していく環境をさらに高めていきたいです。それを叶えていくためには、地域にどのような人材がおられるのか知る必要があります。積極的に出向いていきたいと思ひますし、地域の方の情報提供も必要です。ぜひ、ご協力をお願いしたいと思います。

そして三つ目に、子どもたちの『郷土愛』を育めるようなイベントを企画したいと思っています。子どもたち自身がもっと大崎町のことを知れば、多くの人に自慢したくなると思います。それがゆくゆくは地域おこしにつながっていくのだと考えます。



学校応援団 芋の苗植え



社会科見学 マンゴー農園



- ☆ 河瀬 史奈 (かわせ ふみな)
- ★ 大崎町教育委員会管理課に所属
- ☆ 地域おこし協力隊として平成28年度に赴任
- ★ 現在は大崎小学校で学習支援員として活動中
- ☆ 『笑顔に勝る化粧なし』をモットーに子どもたちと毎日の学校生活を送っている
- ★ 家庭菜園に目覚めたいと思っている